

令和5年10月11日(水)



発行所
常磐南小学校
電話 46-2005
FAX 46-2048
— 第39号 —
2023.10.27



常磐南の学芸会

校長 林 幸康

四年振りの学芸会に向けて、各学年で熱のこもった練習が行われています。体育館の壁際には大道具が並び、放送や照明機器も設置されて、気分も高まっています。

平成二十二年度、常磐南小学校の全校児童数は二十九名でした。三・四年、五・六年が複式だったため、学級数は四学級。その時の学芸会は、クラブ発表に続き、二年生「どろたまかんたろう」、一年生「王さまめいたんてい」、三・四年生「あほろくの川太鼓」、五・六年生「岩谷観音物語」、そして、全校合唱の全六演目が、およそ二時間半で行われました。学芸会後の常南っ子の感想には次のようなものがありました。

「みなさんが、真剣に観ていてくださったので、とてもうれしくて、どんどん元気が出てきました。最後までがんばって、大きな拍手をいただいたときは、本当にうれしかったです。(中略)家の近くのおばあさんも、ぼくが家の手伝いをしていたら、『学芸会、上手だったよ』と声をかけてくださいました。たくさんの方が観ていてくださったことをうれしく思いました。」

児童数が何人であろうと、常磐南学区が一つになって学芸会を盛り上げていた様子が伝わってきます。このように行事を行うたびに、歴史を紐解くことで、常磐南学区ならではの文化・伝統に触れ、自分もその中の一人となれた嬉しさを実感しています。

今年度、四年振りに学芸会を行います。全校児童百七十七名が、クラスごとに七つの演目に挑みます。児童数が増えた分、舞台上立つ時間は短くなったかもしれませんが、セリフの数も少なくなつたかもしれません。それでも、皆様の前で演じるという貴重な機会を、全員が経験できます。

保護者、地域の皆様の温かいまなざしや声かけで、常南っ子は自信をつけ、大きく成長することができます。今年度は四年振りの大きな実りを得られるに違いありません。

三年消防車見学・ 全校起震車体験

まちを守る消防車

三年 〇〇〇〇

わたしは、はじめて消防車の見学と起しん車体験をしました。消防車の中にはホースや油ねん土がありました。油ねん土は、ガスもれなどが起こっている場所をふさぐために使うそうです。はしごは、音楽室をこえるほど高くのびたので、びっくりしました。起しん車体験では、しん度六弱でもとてもゆれていて、こわかったです。地しんのこわさも、火事のこわさも分かった一日でした。



【消防服を着た3年生】

はじめての消防車見学

三年 〇〇〇〇

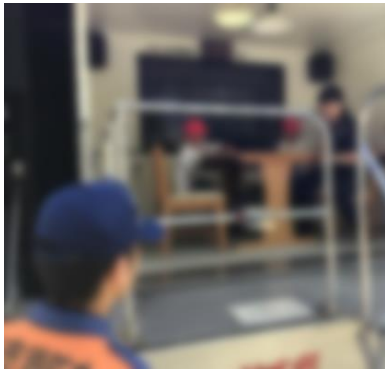
ぼくは消防車見学で、いろいろなことを体験しました。一つ目は、ふだんは見られない道具やはしごののぼし方を見せてもらったことです。

消防車の後ろには、せまい道でもホースを運ぶことができる小さな台車がついていることをはじめて知りました。二つ目は、消防士の服を着せてもらったことです。あんなにあつ苦しい服を着て、重いタンクをせおつて火の中に行けるなんて、すごいと思いました。消防士は、道具の整備などいろいろなおことをしてくれていると分かりました。

きしんしゃにのって

一年 〇〇〇〇

わたしは、きしんしゃにのることがはじめてなので、とてもたのしみしていました。たいけんの日、きしんしゃにのってみるとおもしろいもゆれたので、びっくりしました。てをつないでのついていたともだちが、きゆうにてをはなしたので、それにもどきつとしてしまいました。じしんはおこってほしくないけど、もしじしんがおきたときは、ものにつかまるとよいときいたので、じぶんのみをまもれるようにしたいです。



【震度4の揺れを体験する1年生】

第四回ナナメの教室



【5千円で周りの人を笑顔にする。何をする？】

難問課題

六年 〇〇〇〇

ぼくはナナメの教室で、「五千元でだれかを笑顔にするには？」と言われたとき、頭をかかえてなやみましました。まず、ぼくは投資をして、五千元をさらに増やせば、より多くの人を笑顔にできるのではないかと考えました。でも、他の子は寄附をしたり、花束をあげたりすると書いています。では、ぼくの考えは、どうなんだろうと迷ってしまいました。

だれかを笑顔にする方法は人それぞれでたくさんあるので、答えのない課題というのは、難しいと改めて感じました。

二年 町たんけん

はっけんしたよ

二年 〇〇〇〇

田口たんけん、くまのじんじやに行きました。石のかいだんが何だんもあつて、上るのがきつかったです。じんじやにつくと、大きな木があつて、みどり色のイチヨウの葉がたくさんあり、ぎんなんもおちていました。おまわりするところには、なわとずがありました。なわをゆらして鳴らしてみたら、ガラガラと大きな音が鳴って楽しかったです。

ぼくは、二ひきのこま犬の口が、「あ」と「うん」になっていることをはじめて知りました。田口では、いろいろなものをはっけんしたので、またみんなでたんけんに行ってもっといろいろなものを見つきたいです。



【2年：田口町探検「熊野神社」】

稲刈り 四～六年



【稲の刈り方を説明する地域の方】

初めての稲刈り

四年 ○○○○

小学校で初めての稲刈りをしました。六月に田植えをしたときは、稲が十センチくらいでしたが、四か月でぼくのむねくらいに育っていて、うれしかったです。稲を刈るときは、地面から十センチくらいのところを切ると教えてもらいました。やってみると思っていたよりも、稲がかたくてむずかしかったです。でも、稲を持ってギコギコしたら、すぐに切れたので気持ち良かったです。ふだん食べているお米は、こんなに手間をかけて作るんだなあと改めて感じました。じねんじよの会で、このお米を食べられるのが楽しみです。

楽しくやれた稲刈り

五年 ○○○○

開会式で地域講師さんに、「楽しくやってください。」

と言われたので、それを目標にやりました。作業の中で、刈った稲をすげ縄でしばることが難しかったです。三束くらいをまとめてしばろうとしても力が足りずに上手くいかないこともありました。でも、地域の人たちは簡単にやっていたのですごいなと思いました。稲刈りの作業はとても大変だけれど、誰かが食べると思うとうれしく感じます。私は、お米を最後まで大切に食べようと思います。



【刈り取った稲を集める子どもたち】

大変だった稲刈り

五年 ○○○○

がんばって田植えをした苗が黄色色の稲に育ち、田んぼ全体に広がっている様子を見て、稲刈りが楽しみになりました。

稲刈りが始まると、田んぼの泥に足を取られて何度も転び、服が泥だらけになってしまいました。しかし、汚れてしまうことは気にせず、一生けんめい稲を刈りました。たくさん稲を刈ることができ、うれしかったです。そんな大変な思いをしてしゆうかくしたお米でとろろご飯の会をするのがとても楽しみです。



【すげ縄で稲を束ねる子どもたち】

小学校生活最後の稲刈り

六年 ○○○○

今年も四・五・六年生で稲刈りをし、地域講師の方々に稲の刈り方を教えていただきました。今年で三年目だったけれど、いざやってみるとやっぱり上手く刈れず、難しいなと感じました。私たちが給食などで食べているお米も作っている人が苦労しているから食べられるんだと改めて実感しました。地域の方と一緒に大切に育てたこのお米をとろろご飯の会で食べられるのが楽しみです。小学校生活最後の稲刈りはとても楽しくできました。



【コンバインで脱穀作業】

おめでとう

【理科作品コンクール】

・入選	三年	○	○	○
・入選	四年	○	○	○
・入選	五年	○	○	○
・入選	六年	○	○	○
・入選	六年	○	○	○
・入選	六年	○	○	○

【社会科作品コンクール】

・入選	六年	○	○	○
・入選	六年	○	○	○

【技術・家庭科作品展】

・入選	六年	○	○	○
・入選	六年	○	○	○
・入選	六年	○	○	○
・入選	六年	○	○	○
・入選	六年	○	○	○
・入選	六年	○	○	○

【小学校球技大会 東ブロック】

・女子バレー部	優勝	○	○	○
・対緑丘小	2対0	○	○	○
・対山中小	2対0	○	○	○
・対奥殿小	2対0	○	○	○
・男子ソフト部	○	○	○	○
・対秦梨小	12対7	○	○	○
・対男川小	5対10	○	○	○
・惜敗	○	○	○	○

【小学校陸上大会】

・男子総合6位	女子総合6位	○	○	○
・女子走り幅跳び優勝	六年	○	○	○
・五年男子100m2位	五年	○	○	○
・混合リレー3位	○	○	○	○
・六年	○	○	○	○
③	○	○	○	○
④	○	○	○	○

おめでとう！バレー部 東ブロック優勝！

バレー部

大活躍！ときなんっ子～陸上大会 球技大会～

ソフト部



陸上部

○男子総合6位 ○女子総合6位



常南の心

過程を大切に

六年担任 ○○○○



私が思うスポーツのよさは、自分一人ではなく、必ず相手がいることだと考えています。子供たちは普段の練習ではライバルとしてチームの仲間と共に競い合っています。しかし、大会が始まれば、ライバルではなく、これまで共に切磋琢磨し合ってきた仲間となって同じコートに立ちます。共に高め合ってきた仲間が傍にいるからこそ、選手は自信をもって試合に臨むことができます。しかし、スポーツではほとんどのチームが負けを経験し、最後まで勝つチームは一つしかありません。私が教師になりたての頃、先輩の体育教師から「負けの美学」という言葉を聞きました。試合に負けるとき、そのチームの姿が問われると。

以来、私は毎年「応援されるチームを作りたい」と部活動の子供たちに話をします。結果だけにこだわらず、目標に向かっていくまでの過程や態度を大切にしたいです。このことは、部活動だけではなく、日常生活でも同じことが言えるのではないのでしょうか。どんな結果になろうと、懸命に頑張ってきた過程は必ず自分自身の成長に繋がると信じて歩み続けてほしいです。

今年の小学校体育大会でのときなんっ子の姿は、とても立派でした。みなさん、最後までよく頑張りましたね！

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水
マラソン大会試走			委員会			県民の日学校ホリデー	勤労感謝の日	←とは校外学習	5年山の学習	健康かけ足開始 12/5まで	児童集会 クラブ		読み聞かせ	全校遊び		15:4・6年 11時50分下校	就学時健康診断・5年弁当 月曜集会 委員会	家族ふれあいハイキング		読み聞かせ		P T A 花壇の植え付け	6年10時登校	←	6年修学旅行			文化の日	



【連絡】12月8日（金）は、5時間授業後、14時45分に一齐下校します。（校内授業研究会のため）